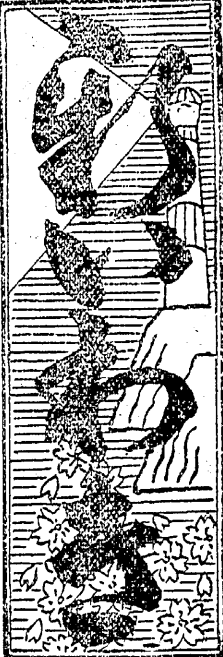


刊夕日十三月一十



休日・日曜・祭日
郵税十五錢一部二錢
廣告料一行四〇錢
場所指定 廿錢増
發行所 福島縣平野町大町五
新いわき新聞社

常識講座
スピーチ・アップは流行
話の一つであるがスピー
ドにスピーチを加へ
たもの、事アツプを冠
するステアアツプは二階
ツレインが上列車ツ
レインは不後時世の事
座

職福島淺吉三は昨二十九のに其れは出来ないと謝絶
日午後十時頃泥酔して平野町され駄々をこねてゐる所を
字南町鈴木染物店に立寄り平野署員に引致検査され今三
伴天その他を注文して世話十日朝説諭の上放還された
料を強要し同店方では確信が同人は郷里若松市で横領
なものがどうか判らぬもの前料あるものであると

多福丸漁夫の
遭難死体
馬郡島津浦
で二名発見
石城郡江名町の中の、漁夫
吉田清五郎が去る二十七
午後四時頃稲荷丸に乗組み
底貝網作業中の相馬郡島津
沖合に於て同網に引かへつ
れ左記二名の溺死體は何れ

支拂不能になると
百七銀の予金買ひ
平地方の各戸を廻る勧誘者
現額の二割と稱して

本縣の親銀行で鳴らした目名が右預金者の各戸を訪問
下休業の百七銀行は一般預し百七に於ける實際の状況
金者に對して四割の減額（では前記年賦金の支拂ひの
百圓を六十圓）を請ひ之れ如きは到底東東なく金額不
よにつて年賦償還が可能で拂に陥るやも難く難く現在
あると聲明されたことによれば若干の見込みがある
つて關係者は其の支拂ひを以て預金の年賦契約に對
受け得られるものと待つて二割（百圓の現額を）
あるが同行の支店を置いた十圓）位で譲渡してはと勸
平町及び其の近郷には最高誘してゐるので關係者間に
四千萬に達する預金關係約不審を抱くもの少なからず
五十名と云はれ此の金額二其筋でも同行の内情が詳細
萬圓以上と唱ひられてゐるでなく右勧誘者の好手段で
ものに對し最近同銀行の元ないかと極秘裡に調査を進
書記であると稱する者外一められてゐる模様である

小名濱の救済土木
工事委員に經濟關係の伏在か
町民大會を開く

小名濱町に於ける救済土木
事業は三萬圓の配當を受け
て漁港の岸壁及び防砂堤の
築設と港内の掘鑿を計畫し
毎日百名位づゝの人力を使
役し既に着工はしてゐるが
工事委員は何故にか事業の
進捗を圖らず統一的な作業
が行はれないのみか簡易に
調査の出来る所用材料すら
未だ整はぬ有様で明年三月
までの本年度中には同事業
の完成見込みなしと稱へられ
それには工事委員に經濟的
關係あるものとの風聞も
同町工場の抄々しからぬ原
因と當局の不誠意を憤る町
有志發起の下に近く町民大
會を催されるものゝ如く其
若松市の大町各古屋町大工

工事區域を擴めて
窮狀を救つて欲しい
平窪村その他から縣に陳情
夏井川の改修工事

石城郡夏井川の改修工事は村及び其の附近部落では救
百七十萬圓を豫算する五ヶ濟を兼ねた事業であるなら
年繼續事業で本年度工事は現下に於ける農村の窮乏
十萬圓を以て六十枚橋から酌んで工事業上支障のない
下流を改修中であるが明年限り勞銀収入の行渡る様施
度工事は上流に移る施行區域を擴げて貰ひ度い希望を催されるものゝ如く其
三十五萬圓と云はれてゐる望を以て近く縣に陳情の模
ものに對し沿岸關係の平窪様であるが同河川の改修區

身元不明の
溺死体
薄磯沖で発見
石城郡豐岡村の薄磯沖合に
於て去る二十八日午前七時
頃同郡江名町字中の作漁夫
鈴木清之助が出漁途中同沖
約一海里の海區に差かゝつ
た際溺死体の浮遊し居るを
発見し引上げて歸港昨二十
九日平野署の検視あつたが死
体は四肢頭部等に漸く球形
たが身元不明である

芋堀親爺か
笹熊撲殺
高野の山奥で
石城郡内郷村の高坂字御殿
三五ノ三居住元炭鑛坑夫宮
田村等一名の邦人年餘三
十歳位の男を鮮 數名によ
つて出入の自由を與へず不
法監禁してゐるものと判り
關係者を引致取調へ中であ
るが茨城縣水戸市に於ける
某請負師に關する一味で平
阿に至るまでの間各地を同
様の宿泊で轉々してゐる事
實を突き止め得たるばかり
で爰に同様に告訴されてゐ
る某事件にも關係ある模様
を平野署に届出た

世話を強要し
檢束
若松市生れの木工
南町鈴木染物店で
若松市の大町各古屋町大工

漫遊漫評
夜長物語(18)
求思樓

またイヤ如何に烈公だとなりませ
て十歳位の小兒の將來を見
破られる筈はないそれは西
蘭寺家は素より琵琶の宗家
だから贈つたのだと云ふ説
柄の里の長柄川に橋を架けたものを人柱にせう」と發云つた

拜啓 萬目紅葉の折柄高堂益々
御清穆奉慶賀候
陳者兼ね、當店の宿願たる國定教科書（小
學教科書）販賣の儀来る新學年（昭和八年
二月）より、扱ひ得る事と相成申候
抑も國定教科書販賣のことは當店創業當初
よりの念願に有之候も種々の事情により
現し得ず、店としての體面の上より私に
悶々の情に居候處今同東京出版界の先輩各
位並に福島西澤書房主等の御盡力により茲
に漸く永年の目的を達成する運びと相成申
候乍然之と申すも必竟平素御顧客皆々様の
絶人なる御聲援を忝ふる賜に外ならず茲
に御報告を兼ね深甚なる感謝の意を表する
次第に御座候旨今御座候ものも中等教科
書同様御座候旨御座候に御願申上候右
御挨拶迄如斯に御座候 勿々敬具
昭和七年十一月 日
福島縣平野町四丁目 電話（二三三四）
マルトモ柴田書店

多福丸漁夫の
遭難死体
馬郡島津浦
で二名発見

も四肢頭部等離失し全身腐
亂し、男女の區別も判明し
難い程であるが平野署の検視
と遺族によつて過般の暴
風雨に遭難した豊岡村多福
丸の漁夫と判り、死体を引渡
さる

豊岡村八幡町漁夫遠藤安
次郎（三）同漁夫四家龜次
（三六）

此の歌によりても前二説の
いづれとも判じ難いのであ
つて、誰彼と人柱にすべき人
選あつたので自分から言ひ出
で誰彼と人柱にすべき人選あ
つたので自分から言ひ出

農業の補助

簡易乾燥法

農試本場 伊藤技師

穀物の補助乾燥
簡易乾燥法(古)
四、簡易火力乾燥室の利
用經費

費用煉炭代一晝夜に要
する所要額數量三個三
十錢(備考粉炭を購入
し自家製造をなすもの
と見積る、粉炭百斤に
て七十個製造す)
木炭代少量三錢(煉炭
點火用に使ふ)人夫賃
延時間三時間半一日一
人六十錢の割で二十三
錢(粗の出入れ手數二
人にて一時間半乃至二
時間位一日九時間労働
と見積る)器具損料二
十錢(蠶座、筵、竹等の
損料)合計七十六錢
一回の乾燥費約七十六錢
を要するを以て初一石當り
の乾燥費十九錢にして若し
人夫賃を除けば十三錢一厘
となる

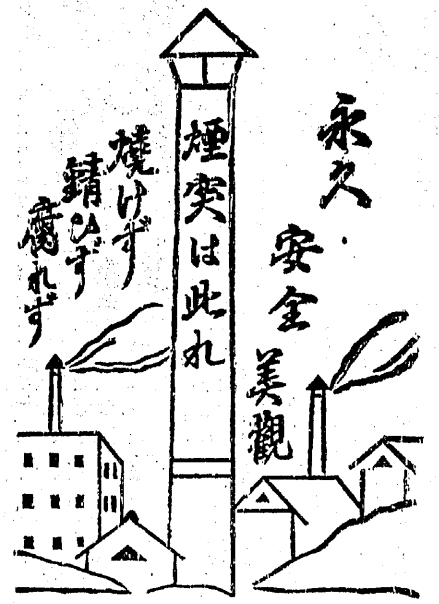
此の結果から見ても簡易
火力乾燥ソウは天然乾燥ソウに
比し經費を節約し得ること
が判るであらう
五、穀物の簡易乾燥と天
乾燥との比較
穀物は天日をするのが合
理的であるが簡易火力カン
ソウに於ても適當なる設備
の下にカンソウするに於て
は其のカンソウ成績は天日

に比して少しも遜色がない
穀物を火力カンソウした場
合の影響に付き各府縣農事
試験場に於て發表したるも
のを綜合して見れば大体大
回に述べる様なものである

牛も豚も優良品の自慢

御命 肉の
三三三屋
平町字 田町

難波醫院
内科...醫學博士 難波 睦
平町大町新川端
(電話五〇二番)



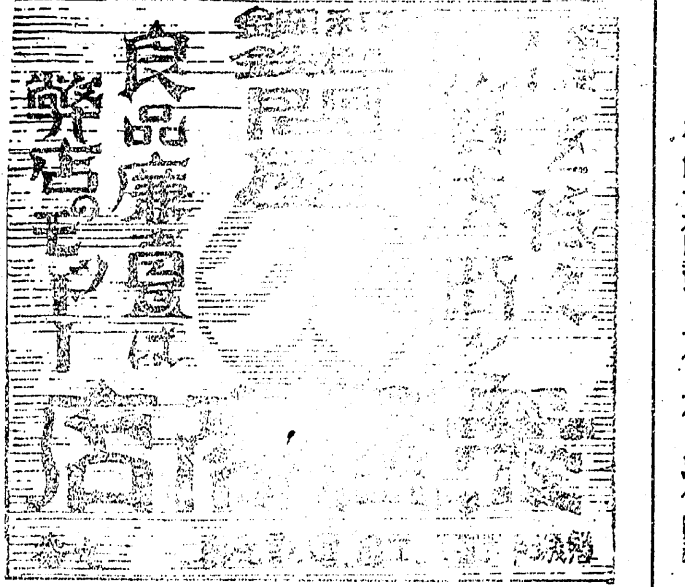
煙突の特賣開始
(期間 十月十五日より十二月卅一日まで)
大谷建材商店
平紺屋町 電366

福引付 吳服大賣出し
十一月二十五日より!
三十日!!十二月一日まで!
昇騰前に仕入れた最安値品と本年最新柄を豊富に
取揃へ...大提供何卒御命を...

御婚禮祝着豊富
七五三祝着紀念付特賣
▲金拾圓以上御買上...合判(三枚疊組)
▲金貳拾圓御買上...キヤビネ(ツツ呈上)
●縮緬友禪、富士絹友禪
●新柄ハリス友禪、尺三九帶
●御袴、地、四ツ身紋付
御祝紀念として無料撮影...
◎撮影は...十二月十二日(但し福引ハ付キマセン)

三井吳服店
平町 電話 二八四
移轉 お知らせ
從來の館では手狭であり尙ほ新
館建築の計畫もありましたので左
記に移轉いたしました。
美術専門 齋藤寫眞館
元公會堂池の端 平町字大町五
(電話呼六二七)

外科(内臓外科) 醫學士 内木 宗八
外科一般
産科、婦人科 院長 木村寅次郎
平町新川町一九
(電話一六四番) 木村病院

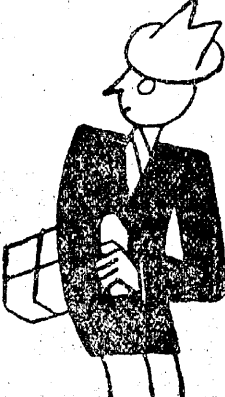


食堂設備 室内裝飾 好みの設計
御用命直ちに専屬の技術員を差遣
し破格的大勉強でお調べ致します
丸はん家具店
平町三丁目電話三五九番

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平町南町
(電話二五八番)

安價で... 天然加里肥
最も適應する作物!
▲蔬菜、馬鈴薯、里芋、じゃが類
▲茄果類ではトマト、茄子の如き比較的病害
に弱い作物に施用すれば抵抗力を興へ落果
を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
▲いかに施用しても土壌を惡變する虞は絶對
にありません
一俵三十錢 (大量取引は特に割引致します)
製造販賣 金成國雅
平町 鎌田 電話六八八番

模範 裁縫 高島屋洋服店
洋服の 御用命は 高島屋へ
新柄着荷
二間か三間位の住み心地よい文化住宅
◎二間か三間位の住み心地よい文化住宅
は初からおも入らずに如な場所へ好きな家
が十位位の家賃を拂つ 併んで居る中に五
六年で自分の家となる 法
サラーマン 絶好の機會
月賦建築(第一回申込
御希望者は至急御相談に御出下さい
平町南町十一番地(日 夜答御)
寶商事社 伊 東
年賀狀の御注文は... 遠藤活版所



年賀狀の御注文は... 遠藤活版所